

Business Report

へんしゅ

第53期 / [2023年4月1日~2024年3月31日]



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード: 6402

EV吸引作業車
(ETM-03BVP)



代表取締役社長

山本 琴一



代表取締役専務

柳井 仁司

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
- 2~3 財務ハイライト
- 4 財務諸表
- 5~6 事業概要
- 7 製品トピックス
- 8~9 トピックス
- 10 会社情報

表題 へんしも(土佐弁)の解説

「へんしも」とは土佐弁で「早く」「急いで」の意。
スピーディーな情報開示の想いです。

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、第53期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

営業の概況等

当期における我が国経済は、コロナ禍の収束の動きが強まり、個人消費や円安効果によるインバウンド需要の拡大や半導体関連の設備投資需要による生産の持ち直しの動きがみられましたが、物価高や能登半島地震の影響のほか、自動車メーカーの不正問題などが幅広い業種にマイナスの影響を及ぼしました。他方、都市開発などは景気を下支えしたほか、日経平均株価など金融市場の安定も好材料となり、景気は緩やかに回復しております。

かかる状況下、期初の見込み通りシャシの入庫が進んだことにより、大型機種の販売は増加となりました。一方、費用面では部材高騰の影響に加えて、前期より利用開始した基幹システムの償却負担、同じく前期に従業員に対して付与した譲渡制限付株式の費用化及び前期には補助金収入が計上されていたこともあり、増収・減益の結果となりました。

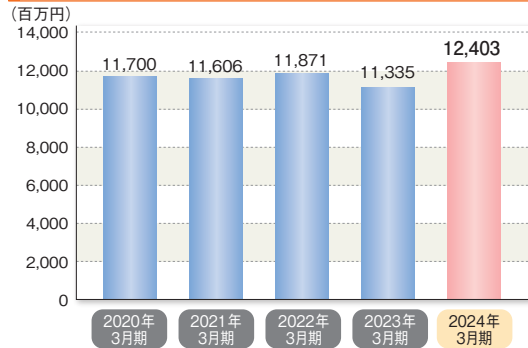
また、足元の受注環境は引き続き好調であり、受注残高は、前期を上回る高水準で推移しております。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

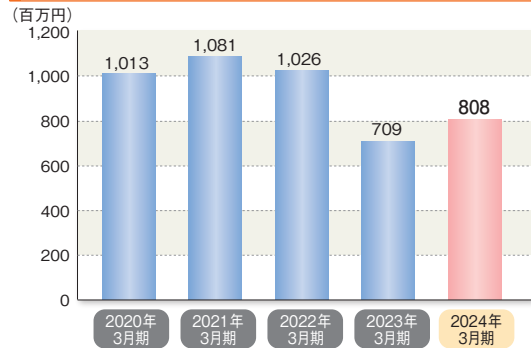
売上高

12,403百万円
前期比 **9.4%**増



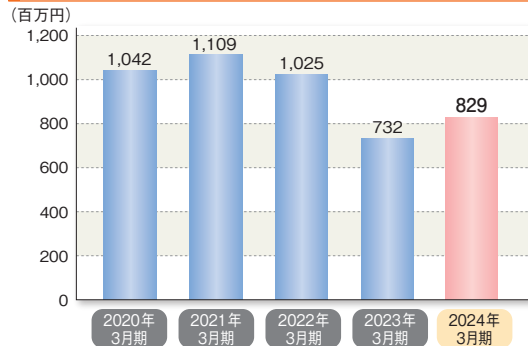
営業利益

808百万円
前期比 **14.0%**増



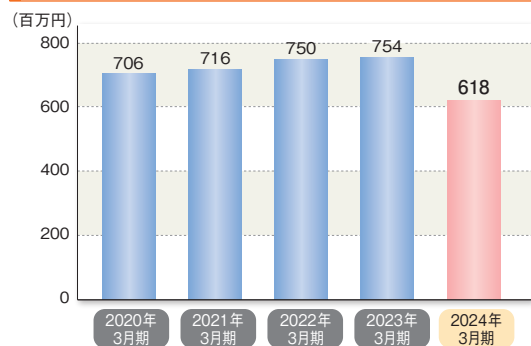
経常利益

829百万円
前期比 **13.2%**増



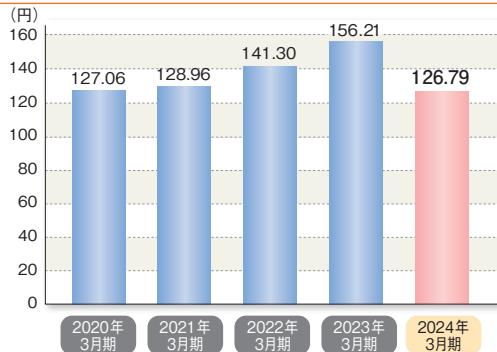
当期純利益

618百万円
前期比 **18.0%**減



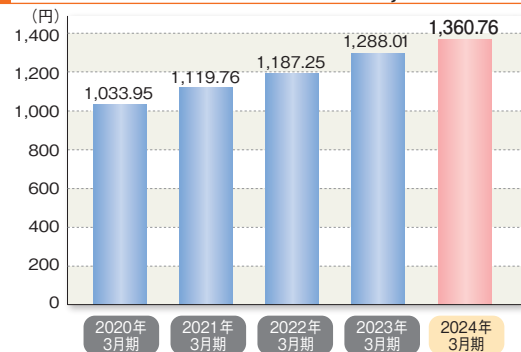
1株当たり当期純利益

126円79銭



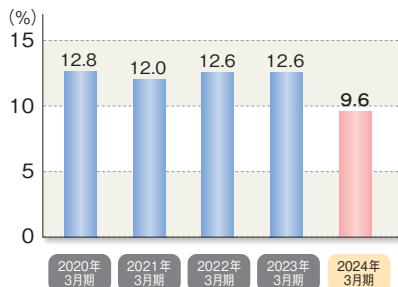
1株当たり純資産

1,360円76銭

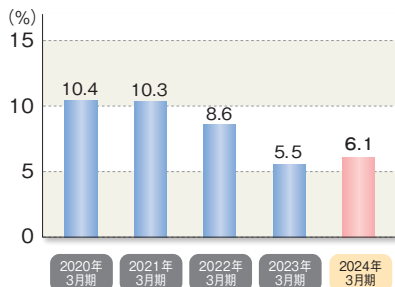


財務分析指標の推移

ROE (自己資本当期純利益率)



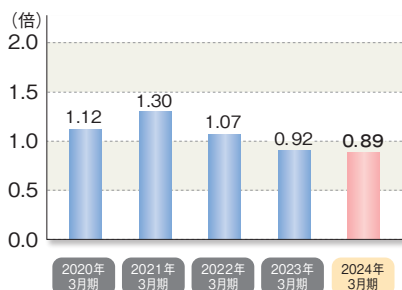
ROA (総資産経常利益率)



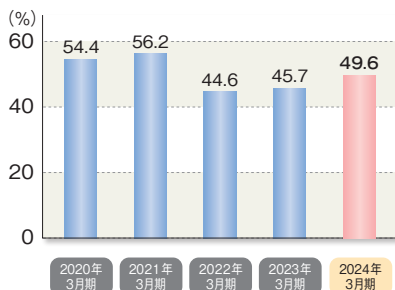
PER (株価収益率)



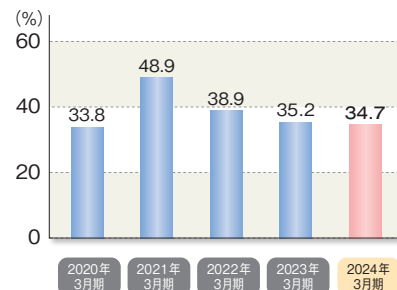
PBR (株価純資産倍率)



自己資本比率



配当性向



2025年3月期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
第2四半期予想	6,250百万円	415百万円	425百万円	295百万円	60円44銭
通期予想	12,500百万円	830百万円	850百万円	590百万円	120円88銭
対前期増減率	0.8%増	2.7%増	2.5%増	4.5%減	

財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当 期 末 (2024年3月31日)	前 期 末 (2023年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	7,779,430	7,854,903
固定資産	5,603,741	5,899,919
有形固定資産	4,923,800	5,150,055
無形固定資産	311,255	364,134
投資その他の資産	368,684	385,728
資産合計	13,383,171	13,754,822
(負債の部)		
流動負債	4,953,547	5,343,840
固定負債	1,787,678	2,122,955
負債合計	6,741,225	7,466,796
(純資産の部)		
株主資本	6,637,787	6,287,376
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	6,796,063	6,445,653
自己株式	△827,998	△827,998
評価・換算差額等	4,158	649
純資産合計	6,641,945	6,288,026
負債純資産合計	13,383,171	13,754,822

損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自 2023年4月 1 日 至 2024年3月31日)	前 期 (自 2022年4月 1 日 至 2023年3月31日)
売上高	12,403,939	11,335,810
売上原価	9,575,831	8,654,765
売上総利益	2,828,107	2,681,044
販売費及び一般管理費	2,019,391	1,971,711
営業利益	808,716	709,332
営業外収益	26,956	30,677
営業外費用	6,341	7,448
経常利益	829,331	732,561
特別利益	8,490	370,572
特別損失	279	14,428
税引前当期純利益	837,542	1,088,705
法人税等	218,625	334,344
当期純利益	618,917	754,360

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自 2023年4月 1 日 至 2024年3月31日)	前 期 (自 2022年4月 1 日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△111,958	2,284,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150,625	△334,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	△615,440	△541,042
現金及び現金同等物の増減額	△878,024	1,408,446
現金及び現金同等物の期首残高	1,970,739	562,293
現金及び現金同等物の期末残高	1,092,714	1,970,739

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 **8,590**百万円

国内最大シェアを占め、産業廃棄物等の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

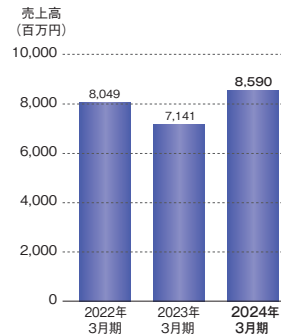
- 廃棄物の収集運搬
- 汚泥の高揚程回収
- 汚泥の長距離吸引



超強力吸引作業車 (SS-16BWP)



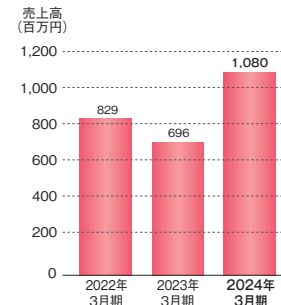
強力吸引作業車 (MP-04BVPL)



新製品等/その他

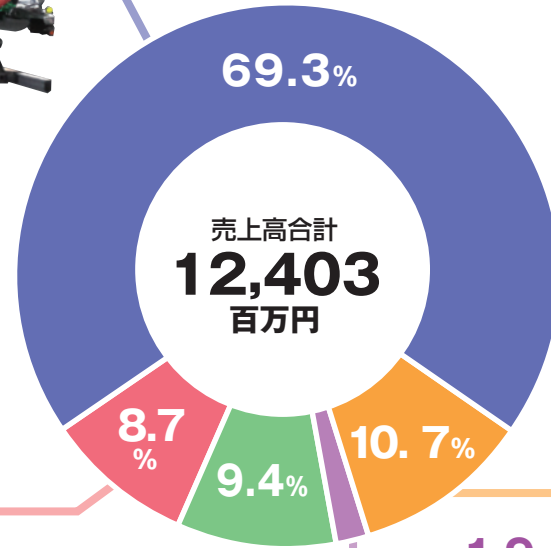
売上高 **1,080**百万円

新製品や主要区分に属さない製品及び修理等が含まれています。



トンネル清掃車 (TC-06WW3B)

**製品別売上高
構成比**



高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車

売上高 **1,323**百万円

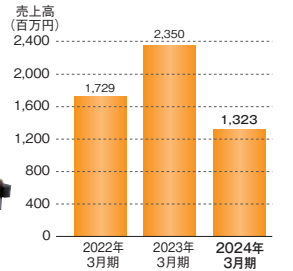
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車に次ぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-04W2320A)



粉粒体吸引・圧送車

売上高 **241**百万円

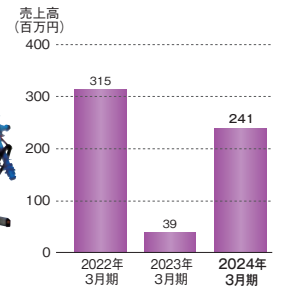
吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高所搬送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント・原料等
粉粒体の回収・高所搬送



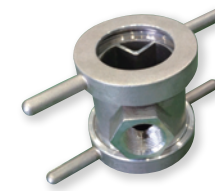
粉粒体吸引圧送車 (SM-16BVYT)



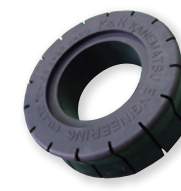
部品販売

売上高 **1,168**百万円

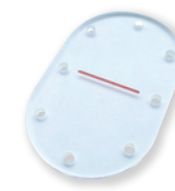
当社製品に関連する部品の売上げです。



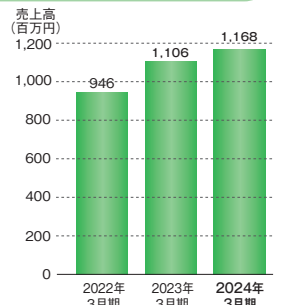
フローゲージ



送り出し装置用タイヤ



長円型レベル窓



EV吸引作業車 (ETM-03BVP)

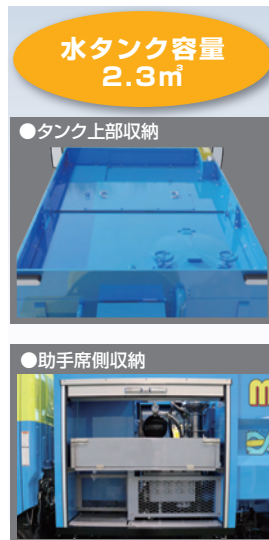


日本初のEV吸引作業車

- ① 温室効果ガス排出ゼロのEV車輛に架装
- ② 心臓部にはシャシ側ePTOを動力源とするルーツブロワを搭載
環境への配慮と吸引力を両立
- ③ 各種情報はタッチパネルに集約表示

※画像はデザイン図です。実際の車輛とは異なります。

2トン 高圧洗浄車 (JS-02W1518K(S))



**新規設計にて
小型洗浄車を
一新!!**

- ① 都市型に対応したコンパクト設計 (全長5,000mm以内)
- ② クラス最大のタンク容積
- ③ クラス最大の洗浄能力
- ④ 豊富な収納スペース
- ⑤ 回転数操作に新方式を採用
- ⑥ 立上マフラを採用



● パラオ共和国向け強力吸引作業車 引渡式



海外仕様強力吸引作業車

2024年2月、パラオ共和国におけるODA（政府開発援助）の一環として、コロール州マラカル下水処理場にて当社の強力吸引作業車の引渡式が行われました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力で締結された「公共事業公社下水システム機材整備計画」によるもので、供与された強力吸引作業車は、主に下水道処理施設の清掃に使用され、パラオの公衆衛生改善に繋がる事が期待されています。

引渡式の様子は、在パラオ日本国大使館のホームページに掲載されています。



在パラオ日本大使館より引渡式の様子

● 下水道管路管理技術施工展2023in高知

2023年10月19日に高知で開催された「下水道管路管理技術施工展」に出展しました。全国の下水道に関連する技術が一堂に集結する貴重な機会において、当社ブースでは最新デモ車2台を含む計5台の実車の展示・実演を行い、250名超の来訪者へ当社の技術をアピールしました。

また、本展示会は近隣での開催であった為、展示会当日から翌日にかけてテクノベースの工場見学を併せて実施しました。こちらも多数の方々にご参加いただき、展示会も含め大盛況の賑わいとなりました。



展示会場



テクノベースの工場見学

●令和6年能登半島地震 復旧支援について



災害復旧工事安全祈願

2024年元旦に発生した能登半島地震では、家屋倒壊や土砂災害、津波などにより、甚大な被害が生じました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

当社は、水の確保が困難な被災地においても活動できる空冷式ポンプを搭載したデモ車NS-04CVPの出動を決め、1月12日に高知を出発。復旧作業にあられる協会を通じて貸し出しを行いました。金沢市内や能登半島での下水管調査や断線箇所の汚水回収に3月末までご使用いただきました。

デモ車だけでなく、災害時の人命救助も想定して開発された災害対策用空冷式強力吸引作業車NS-06CVP(S)をはじめ、多くの当社製品が被災地で利用されました。一日も早い復旧・復興に、当社の技術でこれからも貢献したいと考えております。



災害現場で作業する様子

●溶接技術実用講座inテクノベース

2023年11月16日、テクノベースが溶接学会四国支部様の当年度の活動会場に選ばれ、約50名の方が来社されました。午前中は工場内の見学、午後からは溶接技術実用講座として5名の講師によるテーマ別の講演があり、当社社員も多数参加しました。

最先端技術の紹介や溶接業界の現況など、ものづくりの根幹に関わる話を拝聴する事で、多くの知見を得ることが出来ました。



観覧デッキより工場見学



講演会場

●工場見学



会社説明

2024年2月9日、日本自動車車体工業会/サービス委員会の6社9名様が異業種等工場見学としてテクノベースに来社されました。サービス委員会は、特装車のメンテナンスやサービス、安全に関する啓蒙活動を行っており、当社にとっても有意義な場となりました。当社もサービス委員会に加入し、架装物安全点検制度の普及と共に、さらなるサービス向上に取り組んでまいります。



EV吸引作業車の見学

会社の概要

(2024年3月31日現在)

設立年月日	1971年9月1日
資本金	313,700,000円
従業員数	256名
事業内容	強力吸引作業車、高圧洗浄車等 環境整備機器の製造販売

役員

(2024年6月19日現在)

代表取締役社長	山本 琴一
代表取締役専務	柳井 仁司
常務取締役	北村 和則
社外取締役	長山 育男
社外取締役	十川 智基
常勤監査役	中野 守康
社外監査役	高芝 貴彦
社外監査役	岩田 誠

事業所

(2024年3月31日現在)

本社	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
テクノベース	
生産技術センター	〒781-8130 高知市一宮4786-34 TEL (088) 820-2900 FAX (088) 820-2440
検査出荷センター	〒781-8130 高知市一宮4786-33 TEL (088) 820-2907 FAX (088) 820-2447
東日本支社	
東東京支店/ 西東京支店	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ6F・8F TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店	〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店	〒462-0013 名古屋市中区東味鏡1-702 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525
西日本支社	
大阪支店	〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店	〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
四国営業所 (本社内)	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-8844
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

株式の状況

(2024年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 17,576,000株
発行済株式の総数 4,881,055株
(自己株式682,945株を除く)

株主数 2,471名
大株主

株主名	持株数	持株比率
山本 琴一	472,500株	9.68%
兼松エンジニアリング従業員持株会	347,900株	7.13%
三谷 公男	319,220株	6.54%
山口 隆士	308,532株	6.32%
山本 吾一	262,860株	5.39%
柳川 裕司	197,860株	4.05%
株式会社四国銀行	152,100株	3.12%
坂本 洋介	108,700株	2.23%
三谷 仁男	97,500株	2.00%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	86,600株	1.77%

(注) 1.当社は、自己株式(682,945株)を保有しておりますが、上記表には記載しておりません。
2.持株比率は、自己株式(682,945株)を控除して計算しております。

株式分布状況

(2024年3月31日現在)

